

福祉 ちば

No.147 2009.11.15発行



自分に合った仕事、魅力ある職場を求めて

◎平成21年度福祉のしごと就職フェアinちば

福祉の中で自分に合った仕事や、魅力のある職場はないか—そんな表情で求人ブースを次々に訪れる就職希望者。さる10月17日に開かれた千葉県社会福祉協議会・千葉県福祉人材センター主催の「平成21年度福祉のしごと就職フェアinちば」は、約486人が参加する盛況ぶりでした。

厳しい社会・経済・雇用情勢の下、これからの人生にそれぞれの夢をかけてのチャレンジだけに、参加者の表情は真剣そのもの。各事業所ブースでの質問・相談の多くは〈仕事のやりがい〉と、他の職種に比べて低いと言われている〈待遇〉とのことでした。求人側も、この機会に有能な人材との出会いを—と、熱のこもったアピール作戦をくり広げていました。





ボランティア 私とあなたのために

～現代社会の中で求められている社会問題に対応できるボランティア・市民活動者になるためにステップアップをめざして～

●ボランティア・市民力を磨くー対人援助技術ステップアップセミナー



千葉県ボランティア・市民活動センターでは、「ボランティアとは?」「対人援助とは?」をテーマに、「ボランティア・市民力を磨くー対人援助技術ステップアップセミナー」を10月6日に千葉県社会福祉センターで開催しました。ここに、講師からいただいた、ボランティア・市民活動上のヒントをご紹介します。

ヒント1 善意は反省しにくい

ボランティア活動をされている方々からよく耳にするのは、「相手から感謝されるから出来る!」という言葉です。「ありがとう」という言葉をもらった時は、これまでボランティアを続けてきて良かったと思えます。でも時と場合によっては、相手から感謝されないことも、少なくありません。せっかく努力しているのに相手から「余計なお世話」とか「構わず、放っておいてくれ」といわれることさえあります。そんな時は、何の為にボランティアをしているのか、これから続けることが出来るのか、戸惑ってしまいます。

ボランティアを「他人の世話をタダでしてあげている」という「善意の人」意識で行っていませんか? 残念ながらボランティア活動が「他者への善意」に留まる限り、相手から感謝されなければ、その活動はすぐ限界に来てしまいます。自覚していなくとも、私たちの心のどこかで「相手からの感謝」をアテにする心理が隠れているからです。

ボランティア活動の場合は原則として無償の行為であり、(自分は、善意から困っている人たちのために支援をしている)という意識があります。しかし、善意は反省しにくい面があります。

ヒント2 「二人称から三人称の関係へ」

「水臭い」とはどんな匂い? だと思いませんか? お隣の方と少し話し合ってみてください。(参加者一同顔を見合わせて、答えは出ない様子)「水臭い」とは「水っぽい」「他人行儀」「よそよそしい」などの意味があり、血の匂いが薄まってしまった匂いです。失礼、冗談ですが一理あると思います。ここに他人との関係性「親子関係の原理」があります。

日本のボランティア活動は、「親子関係モデル」で行われて来ました。「親子分ちの関係」、「情緒的一体化」、二人称の関係です。ですから、相手が「ありがとう」と言ってくれないと破綻してしまいそうなのです。

次に、キリスト教的なボランティアについてお話しますが、例えば、皆さんが今日、わが家を出てバスや電車に乗って、無事に会場に着いてセミナーに参加していること、また、セミナーが終わって自宅に戻り、家族と夕食を囲むーこれは、皆様とご家族に異常がなかったから共に集うことができています。これらの事柄を、偶然に都合の良い出来事が重なったのではなく、「神様のお恵み」という「感謝の物語」で読む。

私たちにとって自分や大切な人の健康と生活が、「あたりまえのこと」ではなく、「与えられたこと」と感謝できれば、その「お恵み」に応えようとするのも自然ですね。この感謝を具体的な対人援助という実践で行う。こ

こに三人称の考え方があのです。聖書に「汝、最も貧しき者の為に尽くせ」という言葉があり、マザー・テレサの実践を支えた言葉として伝えられています。

ヒント3 「痛み」を基盤にボランティア活動をしていることを自覚するー他者の痛みが自分の胸に飛び込んでくるー

また、仏教に「四苦八苦」という言葉があります。私たちは、生きる、死ぬ、老いる、病気になるといった様々な苦しみに出会わなくてはなりません。この苦しみを私たちは「痛み」として体験します。残念ですが、これらの「痛み」から逃れる方法はありません。

しかし「痛み」を軽くする(癒す)方法はあるのです。それが「他者の痛み」を少しだけ助けることなのです。

一つ事例をご紹介します。病院で、死期の迫った奥さんがある日、付き添っているご主人に「ジュースを買いに行こう」と言います。そしてヨロヨロと立ち上がって夫に体をあずけ、廊下に出て30メートルほど先の自動販売機へ向かいます。

途中、すれ違った看護師は何気なく軽い調子で「今日はデートですか? 良いですね」と声をかけました。しかし、通りすがった瞬間、迫り来る死を予感しながら、ご主人の腕にしがみついている奥さんの切なさ、心の痛みが看護師の胸の中に飛び込んできて、自分の痛みとなりました。そしてその看護師はくあの奥さんが死を迎えるまでは、精いっぱい看護していこうと毎日5分だけでも時間をつくって奥さんのベッドサイドに向かいます。そうすることが、自分の痛みを解消する唯一の方法だからです。

私たちは素晴らしい感受性をもっています。それは他者の「痛み」を感じる能力です。不思議ですが、相手の「痛み」を助けると自分も楽になるのです。

さて、〈ボランティア〉ってなんでしょか? ボランティアとは相手の「痛み」を感じ、そこに自分の「助け」を少しだけ試みることだと思います。しかし、ここで大切なのは、相手への助けはあくまでも「方法」であり、心の奥のほうにある、「その目的は自分の痛みの軽減にある」と自覚することです。「痛み」を基盤にボランティア活動をしていることを自覚することが大切です。

自分の援助行為がボランティアかプロかを問わず、相手の「痛み」にいかにか届くかを常に検討してみてください。もし困難な相手のボランティアを行う時、相手の笑顔がなかなか得られない時、その方の援助を通して得られる自分の「痛み」の癒しも深く大きいと思ってください。無理せず、少しだけ、相手も自分も楽になる行いを探してみてください。

これは、別な言い方をすれば「他者援助を通じた自己成長」「他者によって自分の存在を証明してもらうこと」です。それが「ボランティアの心」だと私は考えています。対人援助・関係性の原点に「他者援助を通して自己成長」があります。アイデンティティを求める作業としてボランティア活動の意義があります。

* 演習 * コミュニケーションカアップのためのワークショップ

午後は「ボランティア力を磨く! コミュニケーションカアップのためのワークショップ」が行われました。講師は引き続き品川博二氏。インストラクターとして日本ケア・カウンセリング協会の小川美智子准講師が進行の補佐役を務めました。



ワークショップ1 心安らく人間となるために

参加者は5人ごとにグループに分かれ、順番に「ボランティア活動をしていて、最近傷ついたこと」などを3分ずつ話す。それを聞いている者は、アドバイスしたり、自分の意思を主張することは御法度。ただ「あなたの話を聞いて、こんなことを感じた私があります」という態度が求められ、話が一巡すると、次は「誰が自分の近くにいと安らぐ存在か?」を選んで発表し、その理由を説明します。

参加者は、自分の状態に気づき、その人と分かち合うことが今の自分を取り戻す方法になることを体験しました。それは、「心安らく人間」となるための訓練であり、何よりも相手を孤独にしないこと、安心してかかわれる人間になることと、そのことを相手に気づいてもらうことの大切さを学ぶ演習でした。

ワークショップ2 肯定的相互性の実習ー私とあなたのために生きるためにー

7~8名のグループに組み合わせを変え、初対面ながらそれぞれメンバーをほめて肯定的な人間関係づくりの演習を行いました。日本人は、面と向かってほめるのは大の苦手ですが、あえて相手の良い面を見つけてほめてみると、お互いが笑顔になり、より強い絆が結ばれていく。それを理解するのが趣旨です。心理学的には肯定的相互性の練習です。

ボランティア活動とは自発的に発信しながら、相手を肯定し自分も肯定しながら生きる行いです。そこには、「信頼するがあてにしない関係」があります。

まとめ 相対化...社会問題関係の中のサポート

最後に参加者全員で「ボランティアとはこういうこと」と白い紙に書きお隣の人と見せ合って振り返りをしました。相対化されたボランティア・対人援助活動を目指して、特に60歳代以上の方は、恵まれて、ここまでやってこられた、これからは、世の中にお返しという志を持っていただけないだろうか。きっと、御褒美として「免疫抵抗力と精神健康性がアップ」すると思います。

今回のセミナー終了後、参加者からは「本日の講義・ワークショップを通して常に考えることが求められたことがとても良かった」「ボランティア活動に対する意識が変わった」「ボランティアの思想的な基本を教えていただいた」「もっと勉強して心からのボランティアがしたいと思った」「先生のお話しが心に頭に感通。新鮮な気持ちになれた」「ボランティアのあるべき姿、役割がしっかりと認識できた」などの感想が寄せられました。



爺ボラ やってみれば、結構楽しい!

●保育ボランティア「爺時の会」

最初は、2時間も泣き放して往生しましたが、そのうち笑顔で抱きついてくれるようになって…。かわいいもんですね…八千代市では、2人の男性高齢者が「おもちゃ図書館」や若いお母さんたちの勉強会の際に、講座が終わるまで幼児を預かるなど〈保育ボランティア〉として活躍中です。



▲右から保坂さん、齊藤さん

今では「なんでもボランティアの会」にー

この2人は、「爺時の会」会長の保坂和男さん(67)と、その良き相棒の齊藤雄一さん(74)。いずれも勤務先を定年退職後「何か地域のお役に立ちたい」と運転ボランティアをやっていたのですが、平成15年ごろ保育ボランティアの市民ニーズが高まってきたことから、市社会福祉協議会がボランティアの中から協力者を募集。これに応じて「私たちがやってみます」と名乗り出たのが始まり。

それを機会に平成17年4月(頑張る爺さんの団体)をイメージした「爺時の会」を結成。以来、市内のステップ21(子ども支援センター)で毎月第2・第4土曜日に開かれる「おもちゃ図書館」で幼児の遊び相手をするほか、市内の米本公民館では遊び道具や玩具持参で(出前のおもちゃ図書館)を開いています。

また、市保健センターで週1回開催される若いお母さんたちの勉強会(マタニティー教室)、さらに施設の見学会、街の運動会でも保育ボランティアを務めています。

「爺時の会」のメンバーは保坂さんと齊藤さんの2人。それだけに、細かい決まりがなくとも息はピッタリ。おおらかで自由、身軽なのが特色で、保育ボランティアのほかにも、市社協主催の「コーヒーと音楽の集い」では、会場の設営から、高齢者、障害者などを対象に運転ボランティアとしても送迎に活躍。これらの活動には、ボランティアの心を持った友人や知人、6~7名が応援してくれます。会の活動範囲もこうして広がり、今ではくなんでもボランティアの会」といった印象。

当面の課題は、周囲にいる定年退職者に入会してもらうこと。男性の高齢者と保育ボランティアは、なかなかイメージとしては結びつきませんが、「とにかく飛び込んで来てほしい。私たちもいるし、やってみれば結構楽しいものです」と保坂さん、齊藤さんは話しています。

◆湯浅潤也・八千代市社会福祉協議会ボランティアコーディネーターの話

社協にとって本当に頼れる存在

保坂さん、齊藤さんのお2人は、長い人生経験を生かして楽しく活動し、今でも研修会に参加するなど勉強熱心。そしてその胸の内には、地元八千代市をもっと心の通い合ったまちに…という熱い思いがあるのでしょうか。社協にとって、本当に頼れる存在です。

品川博二氏プロフィール 昭和24年生まれ。早稲田大学卒業のち東京教育大学教育相談研究所に入り、臨床研修を修了。(医)磯ヶ谷病院心理室長を経て平成12年特定非営利活動法人「日本ケア・カウンセリング協会」を設立。現在同協会代表。目白大学大学院・東京学芸大学の講師を歴任、臨床心理士。「アマデウス・シンドローム」「シナダス」など著書多数。

活用 しよう!

介護サービス情報の 公表制度

平成18年4月の改正介護保険法により、「介護サービス情報の公表」制度が創設されました。この制度は、介護サービス利用者が事業所を選択する際に、事業所の情報を的確に入手し、比較検討するために設けられた制度です。同制度に基づく介護サービス情報を見れば、どのような事業所が、どのような人材によって介護を提供しているのか、費用はいくらかかるのかなどがわかります。どの事業所も均一な情報を公表しているため、今まで見えなかった介護サービス事業所の詳細な情報を見ることができます。

千葉県社会福祉協議会は、今年度から千葉県の指定法人として「千葉県介護サービス情報公表センター」の運営を開始しました。

制度発足当初は様々な混乱のあった同制度ですが、開始後4年目に向けて、どのような改善がなされたのか。また、公表された情報によって、どのようなことがわかるのかについて解説します。

介護サービス情報公表制度の改善状況

1 公表対象サービスが50種類に増えました

当初は訪問介護など10サービスが公表の対象としてスタートしましたが、今年度から認知症対応型共同生活介護（グループホーム）など15サービスが追加され、全体としては50サービスとなり、ほとんどの介護保険サービスの情報を公表する環境が整いました。

2 手数料が減額されました

千葉県の手数料は、当初1サービスの調査手数料が一律4万円、公表手数料が9,300円でしたが、年々減額され、今年度は調査手数料がサービス種類別に14,500円～19,800円、公表手数料が8,800円になりました。これによって、事業所の費用負担は、制度開始当初の約半額に軽減されました。

3 介護サービス情報報告システムの導入

当初事業所は、作成した調査票を紙や電子媒体で指定調査機関に提出していましたが、平成20年度から介護サービス情報報告システムが導入され、WEB上で調査票に直接入力・提出することができるようになりました。これによって、

基本情報については、前年度作成した内容から変更があった部分のみを修正すれば済むようになりました。

さらに、今年度からは、調査情報の中でマニュアルや規程等の存在が前年度の調査で確認されている項目については、今年度の確認作業は行わない等の調査方法の簡素化が図られています。



▲介護サービス情報報告システム

公表されている情報でどんなことがわかるの？

1 介護サービス情報の公表調査票の仕組み

公表される情報は「基本情報」と「調査情報」の2種類があります。

基本情報とは… 事業所の名称や所在地、設備や職員体制、どんなサービスを提供しているのか、利用料金などの基本的な情報が掲載されています。基本情報は、事業所自らが報告した内容を公表しています。

調査情報とは… 職員の研修状況、サービス提供に関するマニュアルの有無など、主に「サービスの質をいかに保っているか」を示す内容について、指定調査機関の調査員が事実確認した情報を公表しています。つまり、調査情報については、第三者の目加わっています。

2 公表されている情報のポイント

介護サービス情報の公表制度は、介護サービス事業所を様々な角度から確認するための手がかりとなる情報を提供しています。ここでは、その主なポイントをご紹介します。

① どのような実績のある事業所か

「介護サービスの利用者への提供実績」からは要介護度別の利用者の人数を確認することができます。比較的重度の人が多い事業所は、医療への依存度が高い人や重度の認知症などがある人へのサービス実績が豊富であり、重度の利用者を「嫌がらずに受け入れてくれる」ことが考えられます。加えて、事業所の開始年月日が古い事業所の場合は、それだけ重度者に対するノウハウの蓄積があると考えられます。

また、居住系サービスの場合は、「退所者数・退所後の行き先等」「平均的な入所日数」から在宅復帰ができるのか、または長く入所できる施設なのかが見えてきます。

② どのような質の介護を提供するのか

職員の経験年数には当該事業所だけでなく、他事業所に勤務した当該業務も通算されます。職員構成における有資格者・退職者数・経験年数等の項目が事業所・職員のモチベーションの高さやサービスの質を判断するために参考になります。

また、サービスの質の高い事業所を評価する介護報酬の特定事業所加算やサービス提供体制強化加算を行っている事業所は、事業所の体制が整っていることが伺えます。

さらに、調査情報からは、職員の研修についての情報を確認することができます。職員の研修は、サービスの質の確保のために必要です。

③ 施設の設備状況について

サービスを利用する際に設備を利用する場合は、設備面の情報を確認しましょう。

例えば、通所介護で入浴をする際に、家の風呂のように一人でゆっくり入りたいという場合、個人浴に対応した設備があるかどうかを確認することができます。また、身体機能

が低下しても安全に安心して利用できるような福祉機器（特殊浴槽・リフト浴等）が備えられているかも確認することができます。

④ 費用について

事業所と利用者間において金銭をめぐるトラブルを避けるため、費用について確認しておくことはサービスを選択する際の大切なポイントになります。

基本情報の「介護給付以外のサービスに要する費用」から介護保険制度以外の費用を確認することができます。

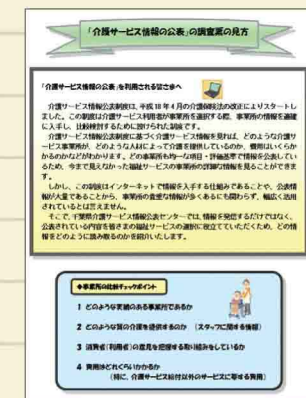
また、有料老人ホームの場合は、入居一時金を徴収するホームと毎月家賃を徴収するホームがあります。契約する前に、「償却年月数」と「解約時の返還の計算式」をみて、4ヶ月後や1年後などに退居した場合に戻ってくる額を計算してみることをお勧めします。

千葉県介護サービス情報公表センターの取り組み

本センターでは、介護サービス情報の公表制度のさらなる周知と活用を促進するため、本年8月にホームページをリニューアルするとともに、公表されている情報をどのように読み取るのかを紹介した「介護サービス情報の公表調査票の見方」を作成しました。内容は本センターのホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。



▲千葉県介護サービス情報公表センター



▲「介護サービス情報の公表」の調査票の見方



お問い合わせ先 千葉県介護サービス情報公表センター / (TEL)043-245-2344 (FAX)043-244-5201 (URL)http://kaigo.chibakenshakyo.com/ (メール)kohyocenter@chibakenshakyo.com

福祉のしごと
の魅力を
4コマで!

千葉県福祉人材センターの携帯ホームページにて「福祉のしごとの魅力」を紹介したマンガコンテンツを、月1回のペースで配信する予定です。今回は、千葉県ホームヘルパー協議会の境野みね子会長への取材に基づいて作成しています。



配信中!

魅力ある
職場を求めて
486名が
参加

●福祉のしごとこころの相談をご利用ください!

職場内の人間関係や仕事の事など、福祉・介護の仕事をしていく中で、様々な想いから悩みが多く、自分自身を失いそうになっている方、一人で悩まず話してみませんか?相談内容については秘密を厳守し、経験豊富な相談員が相談に乗ります!(相談無料)

- 相談日/火・木曜日、奇数月第4土曜日、偶数月第4日曜日
- 電話受付/9:00~17:00
- 場所/千葉県社会福祉センター3階相談室
- 電話/043-247-2855

お気軽に
ご相談
ください!

●平成21年度成年後見制度個別相談会

判断能力の不十分な方々を、法律面や生活面で支援する身近な仕組みの1つとして「成年後見制度」があります。この相談会は、弁護士・司法書士・社会福祉士がペアとなり、法律と福祉の両面から相談に応じる無料の個別相談会です。(申込書等の詳細については本会ホームページをご覧ください。)

- 日時/平成22年1月31日(日)10時~16時
- 場所/千葉県社会福祉センター5階(千葉市中央区千葉港4-3)
- 定員/70名(定員になり次第締め切ります。)
- 詳細等についてのお問合せ先/千葉県後見支援センター (TEL)043-204-6012 (FAX)043-204-6013

●平成21年度福祉のしごと就職フェアinちば

わが国の雇用情勢が深刻化するなか、千葉県社会福祉協議会・千葉県福祉人材センター主催の「平成21年度福祉のしごと就職フェアinちば」が、10月17日幕張メッセの国際会議場で開かれ、約486人の新卒者、中途退職者、転職希望者などが訪れました。

会場には、県内122事業所が参加、求職者は所有する資格や希望する職種を記入した面談カードを手に、次々にお目当てのブースを訪問しては、「勤務条件は?」「残業は月どれくらいあるのですか?」など、担当の係員に質問。これに対し事業所側は待遇面のことから、職場の雰囲気、福利厚生の特徴を懇切に説明していました。

なお、今回はあくまで「面談」が目的で、採用の決定については後日、直接求職者が事業所に連絡して、筆記や面接試験を受けて—ということになります。



福祉の仕事は
楽しさ・やりがい
いっぱい!!

5

いくつかの職業を経たのち、最後にたどり着いた福祉の仕事—。それまでの苦しい経験を活かして、今ではそれぞれの団体が重要な地位を務めている原田真弘氏(きらめいと菜園台センター長)と有村謙二氏(NPO千葉県障害者就労事業振興センター相談員)。平成21年度の「福祉のしごと就職フェア」の「成功者が語る福祉の仕事」で講師を務められたお2人に、転職の理由や苦労、現在の仕事内容とその魅力、やりがいについて伺いました。



施設運営のすべてを
経験しました

きらめいと菜園台センター長
原田 真弘 氏

1 転職の理由を聞かせてください

体育大学卒業後、スポーツクラブで子供たちに器械体操の指導を15年間やっていました。楽しい仕事でしたが「このままで一生過ごしていいの?」と疑問がわき、一念発起して建設会社に就職。ところが、不況のため倒産。この時私は43歳。年齢のことがネックになって、新しい就職口が中々見つかりませんでした。

たまたま妻が介護の仕事をしていたので「福祉」に興味を持ち、6か月間猛勉強してホームヘルパー1級の資格を取得しました。その後、ある福祉施設の立ち上げに参加、そこでは事務的なことから現場での介護まで、施設運営すべての仕事に携わり、そのつながりから、現在の職場に転職したのです。

2 福祉の仕事をするうえで勉強したこと

ケアマネジャーさんを相手に仕事を進めるわけですが、専門知識に乏しく、どうも気おくれしがちだったため、仕事の合間に図書館通いをして勉強を重ね、ケアマネジャーの資格試験に一発で合格することができました。

3 現在の仕事の魅力、やりがいはどんなときに感じますか?

センターでは、問題が次々に起こります。ときには利用者さんの送迎に車を運転したり、施設の修理をしたり、出入りの業者との折衝も、仕事、仕事の毎日。それらの問題を処理してホッと一息つく時に「やったなあ」と充実感や、満足感が湧いてきます。

4 仕事のうえで心がけていることは?

介護の仕事は(究極のサービス業)だと思っていますので、まず利用者さんの思いを的確に理解し、しっかり受け止めることが大事。そして私のモットーは「周囲の人を少しでも楽にするために働く」なので、頼まれたことは一度も断ったことがありません。

5 将来の夢は—

運営している施設が、利用者さん、従業員からも「いいところだなあ」と思ってもらえるようにすること。それから介護の仕事の(低賃金)を改善すること。この2点に尽きます。

6 後輩にアドバイスを—

自分ができることをどんどん増やしていきましょう。それがいつか自分の成長に役立つのです。そのためには、頼まれごとを何でも引き受けようとする気持ちも大切だと思います。



働く障害者に
もっと「給料」を

NPO千葉県障害者就労事業振興センター
相談員 有村 謙二 氏

1 転職の理由を聞かせてください

新しい工場の立ち上げに参加してくれないか—親しい知人から誘われて、30年ほど勤めた東京の会社を定年前に退職。張り切っていたのですが、突然ヘルニアに見舞われ「幹部社員がこれでは迷惑をかける」と思い、その会社も辞めることにしました。

健康を取り戻してからハローワークを訪ねたら「失業保険をもらいながら、大学で勉強できる制度」があるのを知り、早速手続きをして、東金市にある城西国際大学で福祉の勉強を始めました。

そのうち学生仲間「福祉の現場を自分の目で確かめよう」ということになり、県社協を訪ねたり、研修会やその他のイベントにも参加。ある講演会に行ったとき、熱っぽく話してくれた講師が、現在の職場のトップで、後日「もっと話を聞きたい」と団体の事務所へ行ったら、そこで「県から委託を受けた新しい事業と一緒にやらないか」といわれ、その気になったのです。

2 コーディネーターとして、どんな仕事をされているのですか?

現在千葉県内には、障害者のための福祉施設が大小合わせて約500カ所近くあります。その中の多くの施設では働いた障害者の皆さんに(給料)を渡しているのですが、平均月額が1万2000円位です。これでは、自立して暮らすことはできません。

また、小規模の福祉団体が国や行政から補助金をもらうには、法人格が必要になってきていますが、専門的な知識が必要なのと、スタッフ不足のためそこまで手がまわらないのが実情。

そこでセンターでは、「授産施設の利用者の(給料)をどう増やしていけるか」を考え、助言することと、法人格取得や会計処理のお手伝いをしており、私はそのために千葉県内を毎日走りまわっています。

3 現在の仕事の魅力、やりがいはどんなときに感じますか?

仕事の多くがフィールドワークで、毎日実に様々な人と会って福祉施設の経営のあり方などを語り合います。その時のアドバイスで「お陰で、前に進むことができた。助かった」と感謝されると、私にとってこれ以上の喜びはありません。

4 将来の夢は—

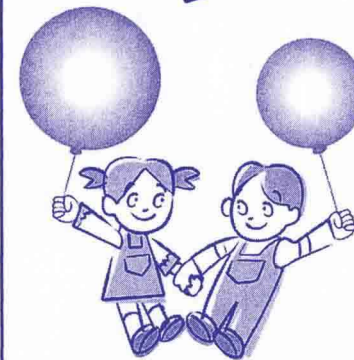
国民の「働く障害者」に対する理解が深まり(給料)が増えることが将来の夢。そのために全力を尽くします。

5 後輩にアドバイスを—

私の場合(人の縁)のお陰で現在があると思っています。とにかく積極的に行動し、努力すること。それが自分の可能性を大きく広げてくれます。

安心を支えます
ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

保険料(掛金) Aプラン...260円 Bプラン...420円 Cプラン...590円
天災危険補償タイプもあります。

※各プランの保険金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご覧ください。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

【訂正】本誌No.146(9月15日発行)で「平成16年秋の(新潟県中越沖地震)」とあるのは「新潟県中越地震」の誤りでした。新潟県中越沖地震は、平成19年7月です。お詫びして訂正いたします。

高齢者、障害者は絶対孤独にしない!!

香取市の〈見守りネットワーク事業〉

〈見守りネットワークセンター〉



鈴木 班長



荒井 主査

地域で暮らす高齢者や障害者を孤独にしてはならない。まして孤独死は絶対に防がなければならないし、災害時には万全の救護体制で——香取市では、市内に住む70歳以上の高齢者や障害を持つ要援護者を対象に、安心して生活できるまちづくりをめざして、現在「見守りネットワーク事業」を展開中。行政、社会福祉協議会をはじめ、地域の自治組織、その他の福祉関係団体、警察、新聞販売店など市民ぐるみの連携で取り組みを進めており、早くも「最近あの家のおじいちゃんの姿が見えないけど…」といった連絡が入り、病気で動けなくなった1人暮らしのお年寄りを無事保護するなど効果を挙げています。

*きっかけは、新潟県中越地震

「見守りネットワーク事業」がスタートしたのは平成20年12月。それに先立つ平成14年頃から当時の旧栗源町社会福祉協議会が業務委託を受け、ホームヘルパーなど地域との結びつきのある職員の協力を得て「安心声かけ事業」を進めてきた経緯があります。

今回の「見守りネットワーク事業」は、平成16年に新潟県中越地震が起きた際、高齢者を中心に多くの犠牲が出たことを知った宇井成一市長から「高齢者や障害者を孤独にしない対策をもっとパワーアップした形で」と私どもの社会福祉課に指示があり、昨年12月にその要綱をまとめました。来年3月までには、具体的な対象者の調査や支援の体制づくりをします。

*市民ぐるみの〈見守り活動へ〉

この要綱に基づき、課内に「見守りネットワークセンター」(スタッフ5名)を設置し、市民からの問い合わせや協

力団体との連絡に当たっています。協力団体としては、民間福祉活動の中核である社会福祉協議会(地区社協を含む)はもちろんのこと、民生児童委員や母子福祉協力員、警察や消防、さらに地域の自治組織のトップである区長や役員の皆さん、新聞販売店、ガス会社、牛乳屋さんなども提携。またホームヘルパーや保健師には本来の〈自立のための生活支援〉に加え〈見守り〉の意識も持ってローテーションを組んで巡回してもらうなど、文字通り〈まちぐるみ見守り体制〉を築きつつあり、すでに40名の高齢者から〈見守り申請〉が届いています。

こうした取り組みの成果は早くも出てきており、新聞販売店から1人暮らしの男性高齢者宅で「郵便受けに入れた新聞がずっとたまっている」と通報があり、駆けつけてみたら、ご本人は「病気のため入院していた」とことが判明。また「最近、まったく顔を見ていないけど…」といった近隣住民の電話で、警察立ち合いでそのお宅を訪問したら、高齢の男性が「体調を崩し、半月近く食事せずに寝ていた」との話。急きょ入院の手続きをとって事なきを得た——という事例もありました。

*高まる〈見守り活動〉への重要性

香取市は、平成18年3月に1市3町が合併して人口8万6000人、県下4番目の面積の都市になりましたが、65歳以上の高齢者人口もそれだけ増え、総人口に対する高齢化率は千葉県全体の約19%に比較し、約27%と高くなっています。

〈見守り活動〉の重要性は一層高まっており、まずは一人暮らしや高齢のご夫婦を孤独にしないこと、支え合う地域社会を築くために、すべての市民の皆さんに理解と関心を持っていただきたいと思います。

一人ひとりのニーズに
応えたい!

シリーズ6



社会福祉課に設置されている〈見守りネットワークセンター〉

編集
後記

経済状況の低迷等により企業の雇用状況が悪化し、今もなお失業率が増加傾向にあります。また、派遣社員の契約打ち切り等の報道も昨年より相次ぎ、「年越し派遣村」が各地で開設されました。

私は先日、東京の「山谷」と呼ばれている地区に行きました。低額宿泊所が軒を連ね「東京一のドヤ街」と称されている山谷には、外国人バックパッカーが全国から集い、宿泊スポットとしても注目されています。

最寄り駅である南千住駅の北側は再開発が進み、高層マンションなどが徐々に建設されつつある一方で、駅の南側では路上生活を余儀なくされ、日々の暮らしにも困窮しながらも必死に生活している人々で溢れかえっています。

社会をもう一度見つめ直してみると、自分がいつも見ている社会とは違った一面が必ず見えてきます。これからは、社会や物事の背景にある現状から瞳を逸らさずに、向かい合っていかなければならないと思いました。(安藤)

